

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

平成 29 年度 第 2 回常務理事会 議事録

開催日時：平成 29 年 9 月 15 日（金）18：30～

開催場所：岐臨技事務所

出席者：兼子、浅野、棚村、佐藤、清水、高崎、柴、乙訓、高木

欠席者：帖佐

議長：兼子

議事録：高木

高木部長より庶務部からの報告があった。

日臨技から届いた資料についての報告があった。

1、会費の送金

平成 29 年度会費 10,000 円×4 名=40,000 円

平成 29 年度入会金 500 円×3 名=1,500 円

送金合計額 41,500 円

2、平成 29 年度全国「検査と健康展」開催助成金送金（8 月 31 日）送金額 500,000 円

3、検体採取等に関する厚生労働省指定講習会開催の実務委員数について

受講者が会員の半数を越したことから今後は実務員の人員並びに受講者を兼ねる場合については以下の目安とする。

受講者数 200 名以下の場合 8 名以内（受講者の兼務者は 5 割以下が望ましい）

受講者数 200 名以上の場合 10 名以内（受講者の兼務者は 5 割以下が望ましい）

4、検体採取等業務拡大に関する現状調査協力依頼について

検体採取等に関する厚生労働省指定講習会を受講終了された会員が所属されている施設を対象に現状調査を実施いたします。岐臨技 HP に検体採取等業務拡大に関する現状調査解答用紙を掲載しました。回答期間 9 月 11 日から 9 月 22 日まで

5、日臨技災害時支援対策マニュアルに基づく災害連絡責任者の任命について

日臨技災害時支援対策マニュアルに基づき災害時情報収集および支援体制の構築のため都道府県臨床検査技師における災害時連絡責任者を定め被災地災害支援室へ被害状況の報告を行う。

災害責任者は兼子会長に任命されました。

6、日臨技管理機器（物忘れ相談プログラム）の貸出しに関して

日本認知症予防学会が所有する「物忘れ相談プログラム」の貸出許可ができました。検査と健康展など積極的に活用してください。

7、日臨技管理資産（検体採取用シミュレータ）の貸出しに関して

病棟・在宅医療などへ業務拡大を行うために（株）京都化学ご協力のもと・鼻腔・咽頭・皮膚・肛門からの検体採取用シミュレータを購入いたしました。積極的にご利用ください。

8、「臨床検査技師のための認知症対応力向上講習会 B」関連資料等送付のご案内

本年4月に各都道府県で企画担当者にむけた「講習会 A」が終了し8月以降から各都道府県において企画開催される「講習会 B」が始まるところです。本講習会は2年計画として行うことになっておりその関連資料を送付いたしました。内容はビデオ理解度確認問題・ビデオ理解度確認回答である。

9、結核研究奨励賞候補者推薦について

公益財団法人結核予防会より結核研究奨励賞候補者推薦依頼がありました。岐臨技 HP に掲載しました。結核研究奨励賞 応募要領により期日（平成 29 年 12 月 15 日）までにご推薦お願いします。

10、平成 29 年度公衆衛生事業功労者の表彰推薦について

岐阜県健康福祉部医療整備課より依頼、応募要項は岐臨技 HP に掲載しました。候補者推薦があれば期日（平成 29 年 9 月 15 日）までにご推薦お願いします。（高木部長）

兼子会長より「平成 29 年度 都道府県技師会ニューリーダー育成研修会」準備会議報告

平成 29 年 8 月 16 日（水）18：30～20：30 に岐臨技事務所で開催した。

出席者は兼子徹会長・浅野敦副会長・森さゆり監事・柴千春理事・関敏秀会員。

1) 開催期日は、平成 30 年 3 月 4 日（日）1 日だけの開催で検討。

2) 企画内容について

(1) オリエンテーション医療情報の講師は、日臨技より役員派遣で検討する。

※ 事前連絡より、役員派遣は日臨技理事の派遣となり、「医療情報、臨床検査技師を取り巻く状況の共有」での講演対応となります。（日臨技 事務局 山内さん）

(2) 日臨技事業、都道府県講習会技師会事業への共感と協力の講師は、兼子会長で調整。

(3) リーダー、中堅職員としてのマネジメントスキルの習得の講師は、知り合いもしくは身近なところで検討する。

※ 森監事より、オーソ 増本隆氏に依頼承諾。講師料は「メーカーのお知らせをする」条件で 2 万円（格安）で依頼可能。講演内容とグループディスカッションと連動させたほうがよいと伝達済。詳細に関して打合せ予定連絡済。（2017.8.23 受信）

※ 浅野先生より、今後継続的な実施も見据えて、富士ゼロックスの方と対応の可否を相談。（2017.8.23 受信）

※ 愛臨技、相山会長に確認したところ、愛知では、平成 29 年度の開催はないということであった。

(4) グループディスカッションについて、本研修会のメインとなるので、研修会プログラム（案）の時間配分を見直し、午後の時間すべてを使って行う方がよい。

- ・内容に関しては、臨床検査領域にこだわらず、講師との打合せで柔軟に検討する。

- ・PC プレゼンにこだわらない、ポスター発表形式でも可。

3) 研修会プログラムについて

- ・開始時刻を早めて、午前中に講演①②を早めに消化して、講演③とグループディスカッションを拡充させる。

4) 運営委員について

- ・本準備会議メンバーで構成する。本研修会リーダーは地域ニューリーダー参加者で持ち回りする。

5) 予算について

- ・参加費（参加者）はグループディスカッションを考慮して 30 人前後×状況に応じて金額設定する。

- ・会場費は、極力経費節約に努める。

6) その他

- ・本運営委員会は、本準備会議に限らず、

「臨床検査技師のための認知症対応向上講習会 B」

「平成 29 年度 初級・職能開発向上講習会 B」

「医療現場における職能向上のための臨床検査技師育成講習会（他職種業務を知る）企画担当者研修会」に関しても、情報共有し、運営に係ることを確認した。

- ・本運営委員会は、岐臨技運営組織図において、組織調査部の傘下に位置する「人材育成部会」としたい。

兼子会長より今年度の岐臨技活動（研修会及び講習会）について報告があった。

「初級・職能開発講習会」は3～5年目の会員向けの職能講習会で平成30年度開催。今後は3年に1回くらいの開催となるか？ 主担当は未定である。

「医療現場における職能向上講習会」は検査説明相談講習会に代わる講習会で岐阜赤十字病院の 武藤 次郎さんが事前講習会に出席されます。平成30年度からの開催となり、主担当は武藤さんを予定。

「認知症検査対応講習会 B」は鷺見病院の佐々木 昭光理事が事前講習会 A を受講済みです。開催は平成30年7月29日（日）、主担当は佐々木理事です。

「人材育成部会」については前述。（兼子会長）

高木部長より会議作業出張申請書・復命書の書式変更について報告があった。

監事より「会議作業出張申請書・復命書」の書式を一部変更したいとの要望がありました。申請書及び復命書の書式変更内容について常務理事会で承認された。（高木理事）

兼子会長より日臨技中部圏支部内連絡会議についての報告があった。

会議は2017年7月1日にあった。内容は以下であった。

#### 1、日臨技中部圏支部 学会・各部門研修会

支部各部門研修会の運営・会計マニュアル、出納帳が更新されている。

日臨技 HP → 会員専用ページ（ログイン後のトップページ）で、常に最新のものを確認すること。

開催は、2月上旬までとし、書類提出を3月10日必着とする。

支部学会では「病棟業務シンポジウム」「学生フォーラム」「中高生向け進学支援ガイダンス」を開催している。

支部学会の書籍販売は「丸善雄松堂（株）」に委託、出展無料で、売上の5%を頂く（手数料）。

支部学会はWEB抄録導入。（株）クリックネットに委託、委託料250000円。

・岐阜県では、平成29年度に、臨床一般部門、病理細胞部門研修会が開催。

#### 2、中部圏支部輸血細胞治療部門研修会（輸血テクニカルセミナー）

認定を目指す方たち向けのため、例年参加者が少ない。日臨技支部長会議で、企画・内容の改革を要望

### 3、日臨技精度管理結果サポート事業

日臨技精度管理調査で C・D 評価の施設対象の研修会で、全分を網羅して行う。  
40000 円+500 円×人数（最大 70000 円）の助成あり。

- ・詳細についてはまだ提示なし。

### 4、組織強化活動（人材育成）

地域ニューリーダー育成講習会を東京で開催（1月12～13日）。

- ・岐臨技からの派遣は未定。

都道府県ニューリーダー講習会

- ・前述。

初級・職能開発講習会

- ・前述

- ・日臨技主催（委託費 10000 円+500 円×人数）。

- ・平成 29 年度「石川・富山」、平成 30 年度「岐阜・愛知」、平成 31 年度「三重・静岡」で開催。

### 5、精度保障施設認証 JCCLS 共用基準範囲採用

日臨技の精度保障施設認証は、平成 28 年度末で 742 施設。

JCCLS 共用基準範囲採用施設は、8%くらいか？

- ・岐阜県では、岐阜大学医学部附属病院、岐阜市民病院、東海中央病院、県立多治見病院の 4 施設は確実。9 月定期便と HP で推奨案内。

### 6、検体採取等の講習会

全国で 36053 名の会員が受講（53.4%）。

- ・岐阜県会員は 70%以上と思われるが、引き続き受講を PR したい。

### 7、e-ラーニング

8 月 1 日より稼働 ・岐臨技 HP に掲載。

### 8、検査と健康展

中央会場は愛知県（名古屋市 ナディアパーク）。11 月 11 日（日）

### 9、認知症対応力向上講習会 B

33 都道府県で開催予定。平成 29～30 年度で 700 名受講を目指す。

- ・岐阜では平成 30 年 7 月 29 日（日）開催を予定。

### 10、日本医学検査学会

平成 30 年度は、静岡県（浜松市）。5 月 12・13 日

平成 31 年度は、山口県（下関市）。

### 11、中部圏支部医学検査学会

平成 30 年は、三重県（津市）。11 月 24・25 日

平成 31 年はいよいよ岐阜開催。9 月 29・30 日を予定していたが、10・11 月開催が望ましいという意見をいただき、10 月 12・13 日に変更。

## 12、日本臨床検査技師連盟

宮島議員が誕生し、臨床検査技師にとって重要な法律改正が進んだ。我々の仲間を国会に送ることが、非常に効果的であると改めて認識できたのではないかな。

- ・ところが岐阜県の連盟会員は 9名！！
- ・岐阜県の目標会員数は112名だそうで、言い換えれば112000円集めればよいのか？集金作戦が必要か？（兼子会長）

高木部長より岐阜県糖尿病対策推進協議会からの案内について報告があった。

岐阜県糖尿病対策推進協議会より「世界糖尿病デー」記念事業ポスター・チラシと糖尿病セミナーチラシの送付がありました。

本協議において11月14日の世界糖尿病デーにちなみ岐阜城及びJR岐阜駅北口駅前広場ブルーライトアップ事業、700Kcal健康食メニュー企画、糖尿病セミナーの3事業を計画しポスターとチラシを作成致しました。

全国糖尿病週間事業に賛同し協賛金については例年通り20,000円で常務理事会の承認を得た。（高木部長）

高木理事より岐阜地区からの報告があった。

第56回岐阜県医学検査学会 第1回打ち合わせ会議を開催した。

平成29年9月7日（木曜日）19：00より、岐阜県臨床検査技師会事務所で行った。

内容

- ・平成29年度県学会開催日が平成30年3月25日（日曜日）。
- ・前日準備が3月24日（土曜日）17：30より、垂れ幕の取り付け、マイク・パソコン・プロジェクターのテスト、受付設置（案内看板準備）を行う。
- ・当日は午前9：00受付開始のため、スタッフは8：30集合。
- ・学会長は岐阜大学医学部附属病院 臨床検査部技師長 野久 謙先生、実行委員長は林 博之理事、事務局は 高木理事、後藤理事、早川理事、内藤 斉さん、帖佐理事、武藤 次郎さん、森 晴雄さん。
- ・案内状は10月の定期便で発送する。
- ・賛助会員向け趣意書・ランチョン依頼書・広告依頼書は10月定期便で発送する。
- ・教育講演：清島 満先生（岐阜大学大学院医学研究科病態情報解析医学教授）
- ・一般演題座長：各部門長に依頼を予定。
- ・市民公開講座については未定です。
- ・学会プログラム（案）については以下のとおりである。

9：00～ 受付開始

9：30～9：40 第56回岐阜県医学検査学会開会  
学会長挨拶

	岐阜県臨床検査技師会会長挨拶
9:40 ~ 10:40	一般演題
10:50 ~ 11:50	教育講演
12:00 ~ 13:00	ランチョンセミナー (1) (2)
13:00 ~	市民公開講座 受付・入場開始
13:20 ~ 14:20	特別講演 市民公開講座
14:30 ~ 16:00	一般演題
16:00	閉会の辞 (実行委員長)

・清島 満先生の講演料 50,000 円を承認した。

高木部長より学術部からの報告があった。

臨床微生物部門研修会 (日時は未定)、合同会社 AIORCOID 代表 相原雅典講師を講師として招聘すること、講師料は 20,000 円とすることを承認した。

臨床血液部門研修会 (日時:平成 29 年 11 月 3 日 (祝) 13:00 ~ 16:30、会場下呂温泉病院 講義室)、愛知医科大学 血液内科 高見 昭良教授を招聘すること、講師料は 50,000 円とすることを承認した。

佐藤部長より精度管理事業部からの報告があった。

精度管理調査の参加状況は、期限内に参加登録を忘れた施設が 18 施設あり、個別に電話対応した。次年度への対策として①岐臨技の広報誌にも載せる。案内文を目立つよう色紙にする。期限近くに改めて案内を発送する。

基本料金について 5,000 円にチェックしない施設が 11 施設あり個別に電話で対応した。次年度への対策として次回から申込書の順番を一番上にする。

今後の日程

- ・集計作業締切り (一次評価終了) (9 月 25 日)。
- ・一次報告書発送 (C・D 評価施設のみ) に精度管理担当者宛に送る (10 月 6 日)。
- ・二次サーベイを受けるかの意思表示確認 (10 月 13 日)。
- ・二次サーベイ試料発送 (化学・免疫・凝固・尿・便) (10 月 17 日)。
- ・是正報告書提出 (10 月中) 。
- ・再入力期間 (10 月 20-23 日)。
- ・第 2 回会議 (最終評価) (10 月 27 日 (金))。
- ・報告会資料公開 (平成 30 年 1 月 22 日。)
- ・報告会(東海中央病院) (平成 30 年 1 月 28 日)

報告会の特別公演は「医療法の一部を改正する法律」について日臨技に講師を依頼した。9/9 日臨技より、宮島会長が直接講師として派遣されることとなりました。

H29年度の日臨技精度保障施設認定にていては9月中旬から申請可能となる。申請費用が5万円かかるが、申請可能施設が28施設あり、岐臨技定期便で案内を送る。(佐藤部長)

清水部長より組織調査部からの報告があった。

平成29年度検査と健康展について報告があった。各部門より連絡を受けている企画について、生物化学分析部門は唾液アミラーゼ測定。臨床生理部門は超音波で体の中を見てみよう、参加人数10名(予定)。臨床一般部門は未定。臨床血液部門は貧血の検査、血球の説明(パネル展示)参加人数3名。病理細胞部門は企画未定、参加2名。臨床微生物部門は手洗いチェック、参加2名。輸血細胞治療部門は学ぼう、血液のゆくえ、参加人数3名。臨床総合部門は未定である。(検査説明・相談はどうか)

無料HIV検査会 事前研修会に参加します。

日時は平成29年10月20日(金曜日)14時00分より。会議内容は「受検者アンケートの結果からみた東海地域HIV抗体検査受検者の動向」と無料HIV検査会の概要説明。会場は岐阜市橋本町1-10-23 ハートフルスクエアG中研修室である。

清水部長が出席します。

日臨技管理機器(物忘れ相談プログラム)の貸出しに関して

日本認知症予防学会が所有する「物忘れ相談プログラム」の貸出許可ができました。検査と健康展で活用したいとおもいます。(清水部長)

高崎部長より広報宣伝部からの報告があった。

第54号(10月)について、今後のタイムスケジュールは、投稿願ひ(9月19日)、原稿締め切り(10月6日予定)、内容確認・校正(10月13日)、発送(10月20日)である。

内容は第56回中部圏支部学会報告、第58回中部圏支部学会実行委員紹介・準備進捗状況など、各地区からの報告(高山市民健康まつりが間に合えば)、各部門からの投稿記事(未定)、施設紹介(西濃地区・飛騨地区予定)その他何かあれば投稿したい。(高崎部長)

柴部長より渉外部からの報告があった。

懇親会 in 西濃についての報告があった。

日時は10月7日(土)18:00~20:00、場所はいろはにほへと大垣駅前店、会費は¥4,000の予定です。多数のご参加、お待ちしております。11月の秋季拡大研修会の前日の土曜日(11/11)に、飛騨地区の懇親会を予定しています。(柴理事)



乙訓部長より会計報告があった。

平成 29 年度岐臨技月別決算表に予算と差額を掲載しました。

7 月の経常収益計 836,501 円、7 月までの経常収益計 10,931,023 円、予算 12,980,100 円、差額－2,049,077 円。7 月の経常費用計 852,686 円、7 月までの経常費用計 3,844,736 円、予算 12,980,100 円、差額－9,135,364 円であった。(乙訓部長)

その他

高崎部長より平成 31 年度第 58 回中部圏支部医学検査学会準備進捗状況について報告があった。

日時：平成 31 年 10 月 12 日（土）・13 日（日）、会場：長良川国際会議場（メイン会議室）、懇親会会場：岐阜都ホテルである。

実行委員は学会長（岐阜県臨床検査技師会会長）、副学会長（岐阜県臨床検査技師会副会長）、副学会長（岐阜県臨床検査技師会副会長）、実行委員長（高崎昭彦理事（岐阜医療科学大学））、副実行委員長（佐藤恵彦理事（関中央病院）・藤井泰三さん（木沢記念病院））、事務局長（乙訓貴之理事（岐阜医療科学大学））、学術担当（学術部長にお願いしたいと思います）、会計担当（田下智栄子さん（岐阜医療科学大学））、広報担当（小枝 勝さん（中濃厚生病院））、会場担当（林 泉理事（美濃病院））、懇親会担当（辻 陽介さん）、展示担当（青木 洋子理事（白鳥病院））、オブザーバーは未定である。第 56 回大会を参考に、学会役員としてそれぞれの担当に 1・2 名の副担当を決める。

実務委員は各地区の地区理事（13 名）部門長（9 名）各地区より 10 名前後（50 名）合計 60－70 名程度募りたい。また愛知の場合 6 年後を見越して 30－40 代の若手技師を主に各担当の副担当としてつけている。差しさえなければ岐阜も取り入れたい。

今後の予定は 9 月 21 日に第一回実行委員会を開催し次週開催される第 56 回大会の視察に関する打ち合わせなどを行う。(高崎部長)

議長 弟 子 徹 

議事録署名人 棚 村 一 彦 

議事録署名人 浅 野 敦 